

■ 研修参加者の声

- (38 歳 女性 看護師) 普段の業務上の振り返りではじっくり考える時間がないが、事例についてみんなで検討できて良かった。
- (25 歳 男性 介護福祉士) 自分の思考の癖に気付き、相手の思考との違いを意識するようになった。介護の記録がわかりやすいと言われるようになった。
- (52 歳 男性 医師) チーム医療には情報共有だけではなく考え方の共有が重要。昔は「飲みニケーション」で行っていたようなことを疑似的かつ効果的に再現できる。
- (42 歳 女性 社会福祉士) 動画を使うことでわかりやすかったので、職場に導入するのにも簡単だと思う。自分でも事例の動画をつくりたい。



写真:グループワークの様子

■ 研修のプログラム

本研修では、ケアの現場で実際に起こり得る出来事を題材にした動画を使用します。動画内の場面に自身が直面したらどうするか考え、ワークシートに整理して他者と比較することによって、行動の背景にある思考スキームの差に気付くことができます。

今回は、指導者の養成を視野に入れたプログラムとして、各施設で危険予知のトレーニングを実践する際のポイントについてもレクチャーします。

研修後には質疑応答など講師と懇談するコーヒープレイクを用意しております。

■ 研修参加者の特典

- 下記のオリジナル教材（非売品）をお持ち帰りいただけます。

①事例動画集（CD-ROM） ②ワークシート類 ③テキストブック ④実践の手引き

- 参加者には修了証（多職種連携危険予知管理者レベル1 資格）を発行します。
この資格は、医療・介護施設における危険予知トレーニング指導者としての初級資格です。
- 施設でも危険予知トレーニングを実践していただけるよう、継続的にフォローいたします。

■ 本研修についての関連研究

- 神山資将、佐々木由恵（2013）「思考スキームに基づいた、医療介護連携危険予知トレーニングの開発—専門職間の協働・教育方法論として」第21回日本介護福祉学会大会（熊本学園大学）2013年10月20日
- 神山資将、佐々木由恵（2013）「KBMに基づいた、医療・介護職間の危険予知トレーニング」第3回知識共創フォーラム、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学、2013年3月3日（共創賞受賞）
- 神山資将、佐々木由恵（2014）「思考スキームに基づいた、医療・介護職間の危険予知トレーニング」日本医療マネジメント学会第14回東京支部学術集会、2014年3月1日
- 佐々木由恵、神山資将（2014）「思考スキームに基づいた、医療・介護職間の危険予知トレーニング〈特集3 リスク感性を高める〉」『臨床老年看護』vol.21,no.1.（2014年1・2月号）
- 神山資将、佐々木由恵（2014）「医療介護連携危険予知トレーニングにおける知識共創」第4回知識共創フォーラム、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学、2014年3月17日

受講のお申込みは公式サイトからが簡単です <http://www.ackk.org/kiken-yochi/>

▶お問合せ先
一般社団法人知識環境研究会
研修事務局

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-11-22 第二神田ビル 13 号
TEL : 03 (3252) 2472
Email : info@ackk.or.jp
FAX : 03-6779-4703
<http://www.ackk.or.jp>